

インターネットから情報を得る

インターネットを利用すると、多くの情報をその場で簡単に入手できます。ただし、情報量がとても多いため、その情報が正しいのか、新しいのかなど判断が難しい面もあります。

そのため、自分の欲しい情報を慎重に選択する必要があります。

● 注意すべき点



情報を探す時に、注意しなければいけないのは

- 情報発信者が明確になっているか
- 一方的に偏った情報ではないか
(良いことばかりが書いてある)

の2点です。

特に、インターネットから情報を得ることに慣れていない場合や医療に関してほとんど知識がない場合は、まず、**公的機関が発信する情報**を中心に探しましょう。

インターネットで情報を探すとき

- 検索サイトを利用する
- リンクを利用する
- 医療機関のホームページを利用する



検索サイトを利用する

通常、何かを調べたい時は、検索サイトを使うことが多いと思います。けれども、検索サイトを利用して探す時は、キーワードを考える必要がありますし、膨大な検索結果が出ることもあります。信頼性に欠けるものや古い情報もたくさんあります。検索結果が多い場合は、さらに絞り込んで探し、同時に信頼できるのか、新しいかなど判断することが大切です。

リンクを利用する

公的機関など信頼できる情報源から情報を得るとともに、そこで紹介されているリンク集などを利用して、別のホームページに移動し情報を探すという方法があります。リンクは、通常、関連したホームページをそこから利用できるようになっています。このようにして、リンクからまた別のリンクへと移りながら、いろいろな情報を得られるのも、インターネットの特徴です。

医療機関のホームページを利用する

医療機関でもホームページを開設しているところが増え、ホームページ上でさまざまな情報を提供しています。病院の方針(理念)、診療科の案内、設備以外に、各診療科の詳細な情報や治療実績なども確認できるところもあります。